

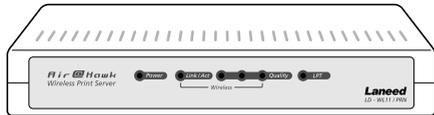
Laneed

Easy Network Solution Provider

Wireless 1port Print Server

1ポート無線プリントサーバ

LD-WL11/PRN



| | |
|------------------|-----|
| 必ずお読みください | P1 |
| 接続する | P19 |
| 本製品の基本設定 | P22 |
| コンピュータ側の設定とテスト印刷 | P33 |
| 設定ユーティリティのリファレンス | P47 |
| ファームウェアの更新 | P57 |
| 必要に応じてお読みください | P63 |

User's Manual

マニュアルの構成について

本製品には、マニュアルが2種類付属しています。

●LD-WL11/PRN ユーザーズマニュアル(このマニュアルです)

無線LANを使ってピア・ツー・ピアを利用した小規模なWindowsネットワークで本製品を使用することを前提に説明しています。本製品を使用するために必要なコンピュータ側の設定を含め、本製品の取り付け/設定からアプリケーションを使って印刷を実行するまでの手順を細かく説明しています。

●LD-PS Admin ソフトウェアマニュアル(付属CD-ROM内にpdfでのご提供)

「LD PS Admin」は、ネットワーク管理者などがWindows上で本製品を管理するために利用するユーティリティです。ピア・ツー・ピアを利用した小規模ネットワークでは、基本設定以外には利用することはありません。このマニュアルをお読みになるにはAdobe Acrobat Readerが必要です。

◆Adobe Acrobat Readerのインストール

付属CD-ROMのインストールメニューから「Acrobat Reader5.0Jのインストール」をクリックしてインストールしてください。

※インストールメニューが自動的に表示されない場合は、CD-ROMの内容を表示し、「install.exe」をダブルクリックしてください。

◆ソフトウェアマニュアルを見るには

ソフトウェアマニュアルを見るには、「MANUAL」フォルダの「LD-PSADMIN_V12.PDF」をダブルクリックしてください。

本製品の設定および接続作業を始める前に、13ページ「はじめて本製品を設定するとき」を必ずお読みください。

ご注意

- 本製品の仕様および価格は、製品の改良等により予告なしに変更する場合があります。
- このマニュアルの著作権は、エレコム株式会社が所有しています。
- このマニュアルの内容の一部または全部を無断で複製/転載することを禁止させていただきます。
- このマニュアルの内容に関しては、製品の改良のため予告なしに変更する場合があります。
- このマニュアルの内容に関しましては、万全を期しておりますが、万一ご不審な点がございましたら、弊社ラニード・サポートセンターまでご連絡ください。
- 本製品のうち、戦略物資または役務に該当するものの輸出にあたっては、外国為替法に基づく輸出または役務取引許可が必要です。
- 本製品は日本国内での使用を前提に製造されています。日本国外での使用による結果について弊社は一切の責任を負いません。また、本製品について海外での保守、サポートはおこなっておりません。
- Microsoft、Windowsは米国Microsoft Corporationの登録商標です。そのほか、このマニュアルに掲載されている商品名/社名などは、一般に各社の商標ならびに登録商標です。本文中における®および™は省略させていただきました。

1ポート無線プリントサーバ LD-WL11/PRN

User's Manual ユーザーズマニュアル

■ はじめに ■

この度は、弊社ラニードの1ポート無線プリントサーバをお買い上げいただき誠にありがとうございます。このマニュアルには、1ポート無線プリントサーバ「LD-WL11/PRN」をコンピュータに導入するにあたっての手順が説明されています。

また、お客様が「LD-WL11/PRN」を安全に扱っていただくための注意事項が記載されています。導入作業を始める前に、必ずこのマニュアルをお読みになり、安全に導入作業をおこなって製品を使用するようにしてください。なお、このマニュアルでは、一部の表記を除いて「LD-WL11/PRN」のことを「本製品」と表記しています。

本製品の設定および接続作業を始める前に、13ページ「はじめて本製品を設定するとき」を必ずお読みください。また、このマニュアルは製品の導入後も大切に保管しておいてください。

●このマニュアルで使われている記号

| 記号 | 意味 |
|---|---|
|  | 作業上および操作上で特に注意していただきたいことを説明しています。この注意事項を守らないと、けがや故障、火災などの原因になることがあります。注意してください。 |
|  | 説明の補足事項や知っておくと便利なことを説明しています。 |
|  | キーボード上のキーを表わします。 |

安全にお使いいただくために

Laneed

けがや故障、火災などを防ぐために、ここで説明している注意事項を必ずお読みください。

| | | |
|---|-----------|---|
|  | 警告 | この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などによる死亡や大けがなど人身事故の原因になります。 |
|  | 注意 | この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり、他の機器に損害を与えたりすることがあります。 |

 **警告**

-  本製品の取り付け、取りはずしの際は、必ずコンピュータ本体および周辺機器メーカーの注意事項に従ってください。
-  小さな子供のいるそばで、取り付け取りはずしの作業を行わないでください。また、子供のそばに工具や部品を置かないようにしてください。けがや感電、部品を飲み込んだりする危険性があります。
-  ACアダプタは本製品に付属のものを使用してください。また、ACアダプタは国内の商用電源100V以外は使用しないでください。付属のもの以外のACアダプタを使用すると、火災や故障の原因になります。
-  本製品の分解、改造、修理をご自分で行わないでください。火災や感電、故障の原因になります。また、故障時の保証の対象外となります。
-  本製品から煙やへんな臭いがしたときは、直ちにACコンセントからACアダプタを抜いてください。そのあと、ご購入店などにご連絡ください。そのまま使用すると、火災や感電、故障の原因になります。
-  本製品に水などの液体や異物が入った場合は、直ちにACコンセントからACアダプタを抜いてください。そのあと、ご購入店などにご連絡ください。そのまま使用すると、火災や感電、故障の原因になります。
-  水を使う場所や湿気が多いところで本製品を使用しないでください。火災や感電、故障の原因になります。

 **注意**

-  本製品の取り付け、取りはずしの際は慎重に作業をおこなってください。強引な着脱は、機器の故障や、けがの原因になります。
-  本製品および本製品を取り付けたコンピュータ本体を、水を使う場所や湿気が多いところで使用しないでください。火災や感電、故障の原因になります。
-  本製品を次のようなところで使用しないでください。
 - ・高温または多湿なところ、結露を起こすようなところ
 - ・直射日光のあたるところ
 - ・平坦でないところ、土台が安定していないところ、振動の発生するところ
 - ・静電気の発生するところ、火気の周辺
-  長期間、本製品を使用しないときは、ACアダプタを抜いておいてください。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

Laneed LPRのライセンスについて

Laneed LPRは本製品1台につき、コンピュータ5台までインストールすることができます。6台以上のコンピュータにインストールする場合は、別途「ELECOM LPR MLP (5ライセンスパック)」＝¥9,800を利用数だけで購入いただく必要があります。ご購入については、弊社ラニード・サポートセンターへご連絡ください。

導入の手順フロー

このマニュアルでは、Windowsのピア・ツー・ピア環境で本製品を利用するための基本的な導入手順を説明しています。他のネットワーク環境で使用する場合は、pdf版「LD-PS Adminソフトウェアマニュアル」などを参考にして設定してください。

●初心者が者の確実に導入できる方法は・・・

コンピュータを1台だけにした最小構成でネットワークを構築し、そのコンピュータから印刷できるようになるまで設定してみてください。そのコンピュータから正しく印刷できるようであれば、各コンピュータをネットワークに接続し、同じように設定してください。

パッケージの内容を確認する →P7

本製品に接続するコンピュータを1台用意し、本製品に接続できる環境を構築する

本製品の設定ユーティリティにアクセスできるように、1台のコンピュータのネットワーク設定と無線LAN設定を本製品の初期値に合わせます。
※既存のネットワークがある場合でも、設定用の環境を一時的に構築する必要があります。

本製品にアクセスし、本製品の基本設定をおこなう →P22

本製品の設定ユーティリティの内容を実際にご使用にあるネットワーク環境に合わせるための基本設定をします。また、LPRソフトウェア「Laneed LPR」の設定に必要な事項をメモします。

各クライアントにプリンタドライバをインストールする →P33

各クライアントには、コンピュータとプリンタを直接接続しているときと同じように、プリンタのドライバをインストールしておきます。

各クライアントにTCP/IPプロトコルを設定する →P34

本製品をWindowsで使用するには、TCP/IPプロトコルが必要です。プリンタを利用するすべてのクライアントのネットワーク設定にTCP/IPプロトコルが登録されていることを確認します。

IPアドレスを設定する →P36

DHCPサーバ機能を使用していない場合は、各クライアントにIPアドレスを手動で割り当てます。

各コンピュータにLaneed LPRをインストールする →P39

ピア・ツー・ピア環境でアプリケーションから直接に印刷できるようにIPダイレクト印刷ユーティリティ「Laneed LPR」をインストールします。

Laneed LPRの設定をする →P41

Laneed LPRの必要事項を設定します。

プリンタの印刷ポートの設定をする →P44

各クライアントのプリンタのプロパティで印刷用のポートを選択します。

テスト印刷を実行する

ワープロソフトなどから印刷を実行してみます。

●導入後はユーザ登録(→P8参照)をおこなってください。

もくじ

Laneed

はじめに 1
安全にお使いいただくために 2
導入の手順フロー 4
もくじ 6

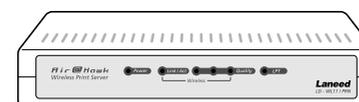
| | |
|--------------------------------|---|
| 1. パッケージの内容を確認する 7 | 7. クライアント側の設定をする 33 |
| 2. 製品の保証とユーザ登録 8 | プリンタドライバを インストールする 33 |
| 3. 本製品の概要について 9 | Windows Me/98での設定 (TCP/IPプロトコル) 34 |
| 本製品の特長 9 | Windows Me/98での設定 (IPアドレス) 36 |
| 本製品の動作環境 10 | Windows 2000での設定 38 |
| Macintoshで利用する場合 10 | Laneed LPRを インストールする 39 |
| 各部の名称とはたらき 11 | |
| 4. 作業を始める前に 13 | 8. ポートの設定とテスト印刷 41 |
| はじめて本製品を設定するとき 13 | Laneed LPRを設定する 41 |
| ネットワークの基本知識 15 | 登録したポート情報を保存する 43 |
| 付属のソフトウェアについて 18 | プリンタを設定する 44 |
| 5. 本製品の接続例 19 | 9. 設定画面のリファレンス 47 |
| 6. 本製品の基本設定をする 22 | デバイス情報 47 |
| 本製品を利用できるように するには 22 | 環境設定 49 |
| 設定用の無線LAN環境を 準備する 23 | ツール 56 |
| 設定ユーティリティの 内容を設定する 27 | 10. ファームウェアを更新する 57 |
| | IPX/SPXプロトコルを 登録する 57 |
| | LD-PS Adminを インストールする 60 |
| | ファームウェアを更新する 61 |
| | 11. こんなときは 63 |
| | 12. サポートサービスについて 68 |
| | 13. 基本仕様 70 |

1 パッケージの内容を確認する

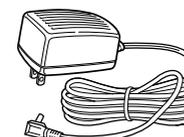
Laneed

本製品のパッケージには、次のものが入っています。作業を始める前に、すべてが揃っているかを確認してください。なお、梱包には万全を期しておりますが、万一不足品、破損品などがありましたら、すぐにお買い上げの販売店または弊社ラニード・サポートセンターまでご連絡ください。

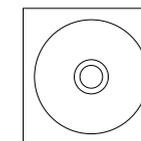
- 1ポート無線プリントサーバ “LD-WL11/PRN” 1台



- ACアダプタ 1個
本製品専用のアダプタです。



- CD-ROM 1枚



- ユーザズマニュアル 1冊
- ユーザ登録カード 1枚
- 保証書 1枚



2 製品の保証とユーザ登録

Laneed

製品の保証とサービス

本製品は、保証書が付いています。内容をお確かめの上、大切に保管してください。

●保証期間

保証期間はお買い上げの日より1年間です。保証期間を過ぎての修理は有料になります。詳細については保証書をご覧ください。保証期間中のサービスについてのご相談は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

●保証範囲

次のような場合は、弊社は保証の責任を負いかねますので、ご注意ください。

- ・弊社の責任によらない製品の破損、または改造による故障
- ・本製品をお使いになって生じたデータの消失、または破損
- ・本製品をお使いになって生じたいかなる結果および、直接的、間接的なシステム、機器およびその他の異常

●修理の依頼

68ページ「修理の依頼」をお読みください。

●その他のご質問などに関して

68ページ「12. サポートサービスについて」をお読みください。

ユーザ登録

製品の導入が完了したらユーザ登録をおこなってください。お客様のユーザ登録は、インターネットからのオンライン登録または付属のハガキで登録することができます。

●オンラインでの登録

弊社ラニード・ホームページから登録が可能です。

ホームページアドレス：<http://www.elecom-laneed.com>

●付属のユーザ登録カードでの登録

必要事項をご記入の上、ご投函ください。品番とシリアル・ナンバーは控えておいてください。裏面のアンケートにもお答えください。ご意見は、今後の製品開発などに役立てていきます。

3 本製品の概要について

Laneed

本製品の特長

●11Mbps無線LANに対応、ケーブルレスでプリンタを共有可能

11Mbps無線LANに対応した無線タイプのプリントサーバです。ネットワーク上のコンピュータが本製品を経由してプリンタを共有することができます。無線LANに対応しますので、無線LAN環境では完全なケーブルレス環境を実現できます。

●Web設定ユーティリティで簡単設定

プリントサーバの環境を設定するユーティリティはWebブラウザからアクセスできるタイプです。Windowsマシンはもちろん、その他のOSを使用するコンピュータからでも設定できます。

●Windows Me/98などで高速印刷を実現、LPRソフト「Laneed LPR」を添付

Windows Me/98などの環境でも、IP経由でアプリケーションからダイレクトにプリントアウトを可能にするプリンタポートドライバソフトウェアが「Laneed LPR」です。本来不可能であったWindows Me/98などからTCP/IPを使ったダイレクト印刷が可能になります。

●管理ソフトウェアからファームウェアのバージョンアップが可能

本製品はファームウェアをフラッシュメモリに記憶しています。付属のWindows版プリントサーバ管理ソフト「LD-PS Admin」により本製品のファームウェアをバージョンアップできます。ROM交換の必要もなく、ソフトウェア上から簡単に最新のファームウェアにバージョンアップできます。

●マルチプロトコルだから、あらゆるネットワーク環境に対応

NetBEUIだけでなくTCP/IPやAppleTalkにも対応するマルチプロトコル対応製品なのでWindows環境だけでなく、UNIXやMac OS環境でも本製品をお使いになれます。

※AppleTalkはPostScriptプリンタのみ対応

本製品の動作環境

本製品は次のプロトコルとOSで動作します。

| | |
|---------|--|
| 対応プロトコル | TCP/IP(LPR), NetBEUI(SMB), Apple Talk |
| 対応OS | Windows Me, Windows98, Windows 2000, Windows NT 4.0, Mac OS(漢字Talk7以上) |

※最新の動作環境は弊社ホームページ(<http://www.elecom-laneed.com>)をご覧ください。

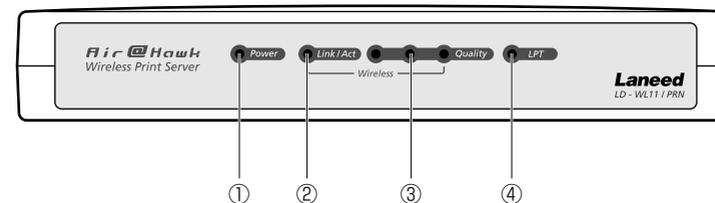
Macintoshで利用する場合

本製品にMacintoshを接続する場合は、次の点についてご確認ください。

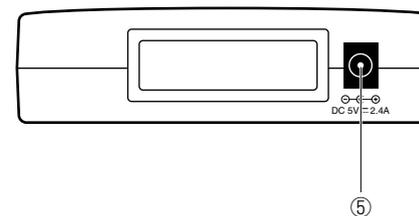
- プロトコルにAppleTalkを使用する場合は、PostScript対応プリンタを使用する必要があります。
- 本製品を接続後は、CD-ROMディスクの「MANUAL」フォルダ内にある「LD-PS Adminソフトウェアマニュアル(LD-PSADMIN_V12.PDF)」の「AppleTalkでの設定」をお読みになり、必要な設定をしてください。

各部の名称とはたらき

■前 面

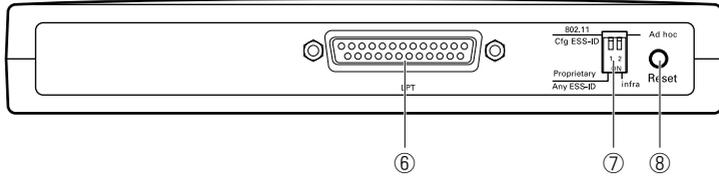


■右側面



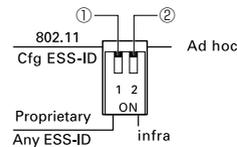
| | | |
|---|----------|---|
| ① | POWER | 本製品の電源が入っているときに点灯します。 |
| ② | Link/Act | アクセスポイントや無線LANアダプタとリンクが確立しているときに点灯します。データの送受信中は点滅します。 |
| ③ | Quality | 電波の状態を表示します。点灯するランプの数が多いほど、電波状態が安定しています。 |
| ④ | LPT | 本製品に接続されたプリンタにデータを送信するときに点灯します。 |
| ⑤ | DCジャック | 付属のACアダプタのDCプラグを接続します。必ず本製品に付属のACアダプタだけを使用してください。 |

■背面



| | | |
|---|----------------|--|
| ⑥ | PRINTER ポート | IEEE1284 セントロニクス仕様のプリンタケーブルと接続します。 本製品側のコネクタ使用はD-Sub25ピン(メス)です。 |
| ⑦ | ディップ スイッチ | 本製品の通信モードを設定します。下記のディップスイッチ設定一覧 を参照してください。 |
| ⑧ | リセット スイッチ | 本製品を工場出荷時の初期状態に戻します。初期化の手順は次のとおり です。 ①本製品が完全に起動するまで待ちます。 ②芯の出っていないシャープペンシルの先などでリセットスイッチを3 秒間(LPTランプが点灯するまで)押し続け、そのあと離します。 ③その後以下のようなランプ表示になれば初期値に戻ります。 LPTランプが短く5回点滅→LPTランプが長く1回点灯(3秒間)→ LPTランプが短く3回点滅→Link/ActランプとQualityランプが消灯 →Linkランプが短く3回点滅→Link/Actランプ点灯→Qualityランプ 点灯 (斜体文字の部分は初期化作業中の表示です) |

●ディップスイッチ設定値



| 図 | スイッチ ① | スイッチ ② | 内 容 |
|---|-----------|-----------|---|
| | OFF | OFF | 802.11アドホック・モードで接続します。ESS-IDの設 定を利用して通信するモードです。同じESS-IDのアクセ スポイントがあった場合に、通信が不安定になります。 通常は選択しないでください。 |
| | ON | OFF | アドホック・モードで接続します。本製品と無線LANア ダプタがアクセスポイントを経由せずに通信して印刷を 実行します。 |
| | OFF | ON | インフラストラクチャ・モード(ESS-ID固定)です。本製 品の設定ユーティリティで指定したESS-IDと同じESS- IDを持ったアクセスポイントとしか通信ができません。 |
| | ON | ON | インフラストラクチャ・モード(ESS-ID=ANY)です。ア クセスポイントのESS-IDがどんな名称でも本製品にアク セスすることができます。このモードが初期値です。 |

4 作業を始める前に



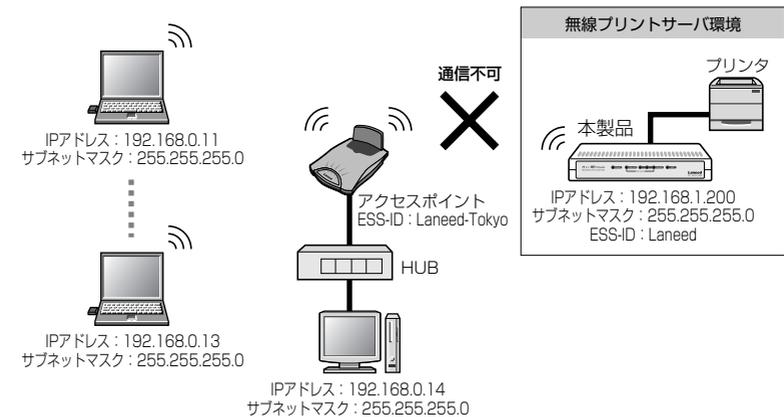
作業を始める前に知っておいていただきたいことを説明しています。

はじめて本製品を設定するとき

本製品を利用するには、本製品の設定ユーティリティでの設定が必要です。設定ユーティリティにアクセスする方法は、無線LANを使ってアクセスする方法しかありません。そのため、はじめて本製品の設定ユーティリティにアクセスするときは、本製品の初期値として設定されているネットワーク設定および無線LAN設定と同じ設定にしてアクセスする必要があります。実際にご使用になっているネットワーク環境が本製品の初期値と異なる場合は、設定用に別のネットワーク環境を一時的に構築していただく必要があります。また、新しくネットワークを導入する場合でも、本製品の初期値と違う設定をする場合は同じように設定用のネットワークを構築する必要があります。

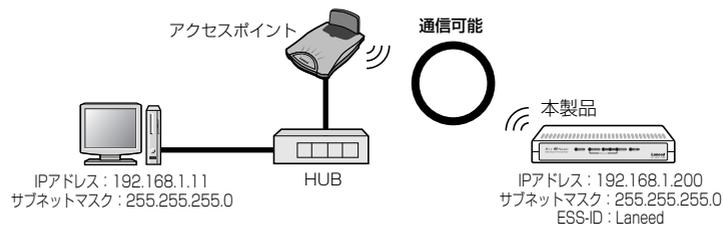
①現在の環境にそのまま本製品を取り付けてもIPアドレスやESS-IDなどの設定が異なるので認識することもできません。

◆既存のネットワーク例



例では既存のネットワークのIPアドレスが「192.168.0.xxx」であるのに、LD-WL11/PRNのIPアドレスの初期値は「192.168.1.xxx」であるため、接続しただけでは使用できません。

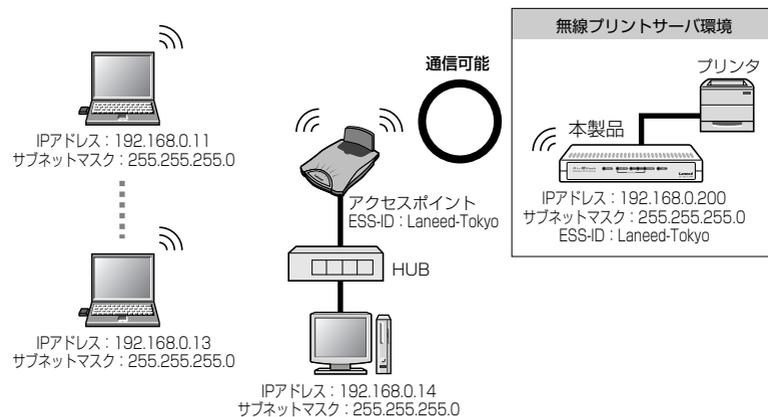
- ②そこで、本製品の設定値を変更します。しかし、本製品は無線LANでしかアクセスできないため、本製品にアクセスできるように設定値を合わせた無線LAN環境を一時的に用意する必要があります。



例はインフラストラクチャ・モードの場合です。アドホック・モードでもかまいません(19ページ参照)。コンピュータ側のIPアドレス、サブネットマスクを本製品の初期値に合わせます。アドホック・モードの場合は、ESS-IDおよびチャンネル設定も本製品の初期値に合わせる必要があります。いずれの通信モードでもWEPやMACアドレスフィルタリングは無効にします。これで、本製品の設定ユーティリティにアクセスできるようになりますので、実際にご使用になっているネットワークの設定値に変更します。

※インフラストラクチャ・モードの場合、本製品の初期値はESS-IDの名称を識別しないように設定されていますので変更する必要はありません。

- ③実際のネットワーク環境に本製品を接続します。



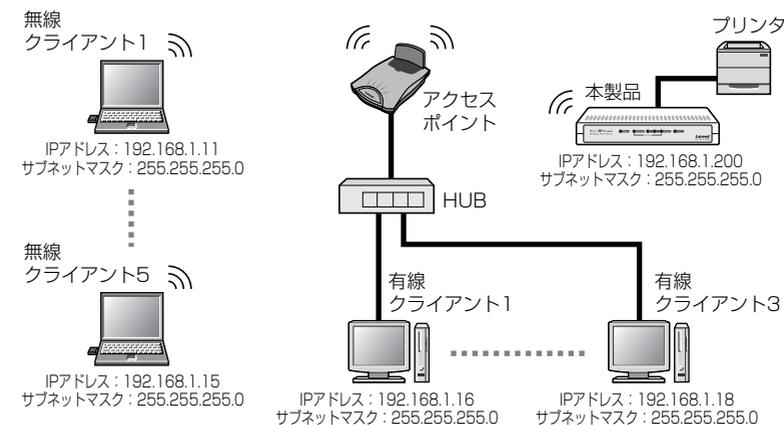
本製品の設定値が実際にご使用になっているネットワーク環境の設定値に変更されたので、実際にご使用になっているネットワーク環境に設定して使用できるようになります。

※インフラストラクチャ・モードでは設定ユーティリティの設定変更のほか、ディスプレイの変更が必要です。

ネットワークの基本知識

本製品の設定には、ネットワークに関する基礎知識が必要です。ここの説明をお読みになったあとで、19ページ「5.本製品の接続例」へ進んでください。また、設定中も必要に応じてこのページを利用してください。

◆本製品を使ったネットワークの構築例



TCP/IPプロトコルについて

ネットワークを使ってデータを送るには、プロトコルと呼ばれる通信手順が使用されます。本製品をピア・ツー・ピア環境で利用してアプリケーションから印刷するには、「TCP/IPプロトコル」と呼ばれる通信手順を使用します。TCP/IPプロトコルは、インターネットでも利用されるため一般的なプロトコルとして知られています。

IPアドレスについて

TCP/IPプロトコルを使用するには、ネットワークに接続されたクライアント(コンピュータなど)に、IPアドレスやサブネットマスクを割り当てる必要があります。ルータなどのDHCPサーバ機能が利用できる環境では、これらの設定を自動的に割り当てることができます。

●IPアドレス

IPアドレスは4組の数字の組み合わせで構成されています。同じネットワークのクライアントは、はじめの3組の数字は同一で、4組目の数字だけが異なる組み合わせに設定します。また、IPアドレスと同時にサブネットマスクを設定する必要があります。(サブネットマスクが255.255.255.0の場合)

192.168.1.11

ひとつのネットワークでは、この3組の数字は必ず同一でなければならない

ネットワーク機器ごとに異なる数字を設定(ネットワーク上に同じ数字があってはならない)

●サブネットマスク

サブネットマスクも4組の数字の組み合わせで構成されますが、同じネットワークのクライアントのサブネットマスクはすべて同じ数字の組み合わせに設定します。一般的にローカルネットワークでは「255.255.255.0」が使用されます。

●DHCPサーバ機能

DHCPサーバ機能は、IPアドレスやサブネットマスクをクライアントに自動的に割り当ててくれる機能です。ルータにはこの機能を持った製品が多いので、ルータを使用している場合はDHCPサーバ機能を有効にすると、わずらわしい設定は不要になります。

無線LANのセキュリティについて

無線LANは電波でデータを送受信するので、知らない間にネットワークに不正アクセスされたり、電波を盗聴される可能性があります。そこで、本製品(プリントサーバ)やアクセスポイント、無線LANアダプタには不正アクセスや盗聴を防止するためのさまざまなセキュリティ機能を備えています。

●ESS- ID(Extended Service Set ID)

もし、隣のオフィスが同じ製品もしくは同じ帯域を利用する無線LANを使用すると、ネットワークそのものが混信する恐れがあります。そこで他のネットワークと自分たちのネットワークを区別するためにESS IDと呼ばれるネットワークの名称を決めます。同じネットワークに所属するコンピュータには同じESS IDを設定することで、他のESS IDを持ったネットワークとは区別され、不正アクセスを防ぐことができます。

●MACアドレスフィルタリング

アクセスポイントに装備されている機能です。ネットワークアダプタには、1台ごとに「MACアドレス」と呼ばれる固有の番号が割り当てられており、世界中に同じMACアドレスを持つアダプタは存在しません。そこで、アクセスを許可する無線LANアダプタのMACアドレスだけを登録することで、その他のMACアドレスを持った無線LANアダプタからはアクセスできないように制限することができます。この機能をMACアドレスフィルタリングまたはアクセスコントロールといいます。

※アクセスポイントでMACアドレスフィルタリングを使用する場合、本製品の通信が許可されるように設定してください。アクセスが不許可の場合は本製品を使用できません。

●WEP(Wired Equivalent Privacy)

ESS IDやMACアドレスフィルタリングは、不正アクセスを防止するための機能ですが、それだけでは、特殊な装置を持った第三者に意図的に盗聴される恐れがあります。本製品では、さらにセキュリティを高めるために、WEPという機能を利用できます。WEPはデータを暗号化する機能で、暗号の元になるキーワードをひとつ決め、そのキーワードから作成された数値をキーとして暗号に利用します。同じネットワークの利用者だけに暗号を知らせることで、たとえ第三者が電波を盗聴してもデータを解読することができなくなります。



本製品のWEPには暗号キー番号がありません。ご使用になっている無線LAN環境に複数の暗号キー番号がある場合、暗号キー番号「1」を使用するようにしてください。他の暗号キー番号を使用した場合、本製品のWEPを有効にしても接続することはできません。

付属のソフトウェアについて

本製品には2種類のソフトウェアが付属します。

LPRソフトウェア「Laneed LPR」

「Laneed LPR」は、Windows Me/98のクライアントがTCP/IP経由で直接プリントするためのユーティリティです。Laneed LPRでプリントサーバのIPアドレスを設定すると、Windows Meなどにプリントサーバ用の出力ポートが追加されます。Windows のプリンタの設定で、[利用できるポート]としてこのポートを選択すると、ローカルプリンタへの印刷と同じような感覚で、TCP/IP経由のダイレクトプリントができるようになります。印刷のたびに出力先(IPアドレス)を設定する必要もなく、ルータを越えたネットワークのプリントサーバにも印刷できます。

設定ユーティリティ「LD-PS Admin」

「LD-PS Admin」は、本製品のファームウェアを更新するのに必要なWindows版ユーティリティです。そのほかにも各種機能が設定できますが、Web版の設定ユーティリティと同じ内容です。ファームウェアの更新方法については、57ページ「10.ファームウェアを更新する」をお読みください。そのほか「LD-PS Admin」に関する詳細な説明は付属CD-ROMディスクの「MANUAL」フォルダにあるpdf版「LD-PS Adminソフトウェアマニュアル(LD-PSADMIN_V12.PDF)」をご覧ください。

Laneed LPRのライセンスについて

Laneed LPRは本製品1台につき、コンピュータ5台までインストールすることができます。6台以上のコンピュータにインストールする場合は、別途「ELECOM LPR MLP(5 ライセンスパック)」=¥9,800を利用数だけご購入いただく必要があります。ご購入については、弊社ラニード・サポートセンターへご連絡ください。

5 本製品の接続例

Laneed

下記の接続図を参考に本製品を接続してください。本製品へ接続する環境については、無線LANの通信モードによってアドホック・モードとインフラストラクチャ・モードの2種類の接続方法があります。

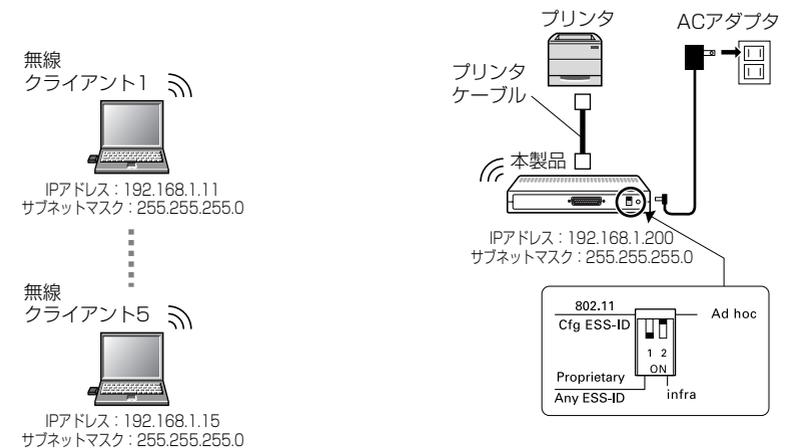


重要

実際に本製品を使ったネットワークを構築するのは、22ページ「6.本製品の基本設定をする」で本製品の設定を完了したからにしてください。設定の前にネットワークを構築し、機器を接続してしまうと本製品の設定ユーティリティにアクセスできなくなる場合があります。詳しくは13ページ「はじめて本製品を設定するとき」をお読みください。

アドホック・モードによる接続

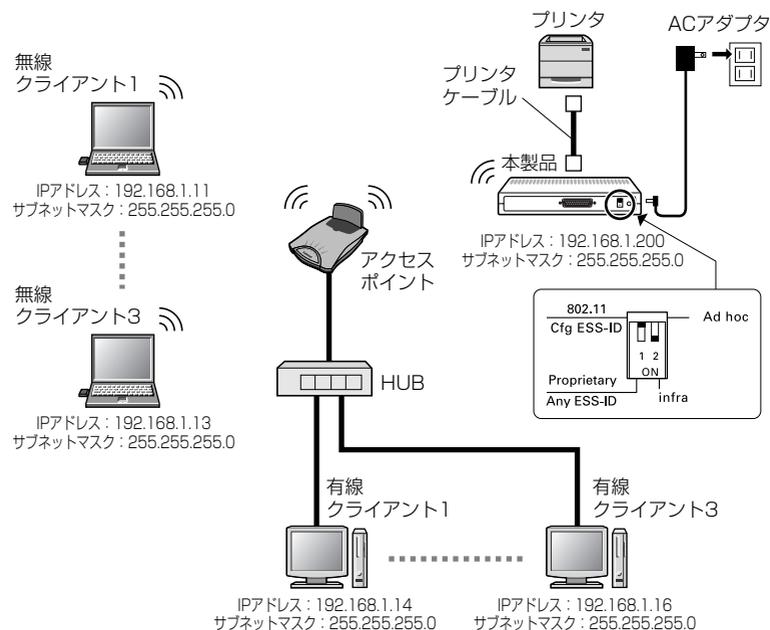
アクセスポイントを使用せず、無線LANアダプタを取り付けたコンピュータと本製品で直接プリントデータをやり取りする場合は、アドホック・モードで接続します。



- アドホック・モードでは本製品と各クライアント(コンピュータ)のIPアドレスを必ず指定しなければなりません。
- 本製品のプリンタポートはD-Sub25ピン(メス)です。接続するプリンタに適合したプリンタケーブルを用意し、本製品とプリンタのプリンタポートの間を接続してください。

インフラストラクチャ・モードによる接続

アクセスポイントを経由して本製品に接続されたプリンタから印刷する場合は、インフラストラクチャ・モードを使用します。



- アクセスポイントの有線LANポートに有線のネットワークを接続することで無線LANからだけでなく、有線LANからもプリンタを利用できます。
- DHCPサーバ機能がない環境では、各クライアント(コンピュータ)に手動でIPアドレスを割り当てる必要があります。
- 本製品のIPアドレスは初期値では固定になっています。ルータなどを接続し、DHCPサーバ機能を利用している場合は、本製品のIPアドレスをDHCPサーバが自動的に割り当てる範囲外のIPアドレスを固定的に割り当ててください。(例)DHCPサーバが192.168.0.11~192.168.0.100を自動的に割り当てる場合は、192.168.0.101以降のIPアドレスを割り当てます。

- ディップスイッチの初期値は、ESS-IDを識別しないようになっています。本製品の設定ユーティリティで、実際にご使用になるネットワークのESS-IDを設定している場合は、ディップスイッチの設定を「ESS-ID固定」に変更する必要があります。



ディップスイッチを初期値のままにした場合、複数のアクセスポイントがある環境では正常に動作しないことがありますのでご注意ください。

- 本製品のプリンタポートはD-Sub25ピン(メス)です。接続するプリンタに適合したプリンタケーブルを用意し、本製品とプリンタのプリンタポートの間を接続してください。

6 本製品の基本設定をする

Laneed

本製品を利用できるようにするには

本製品を利用できるようにするには、ご使用になるネットワーク環境に合わせて本製品の設定を変更する必要があります。

■作業の流れ

本製品に無線LANで接続できる環境を構築します。



本製品の設定ユーティリティにアクセスします。実際にご使用の無線LAN環境に合わせて設定を変更します。また、プリントサーバ機能を使用するために必要な情報をメモします。



変更した設定内容を保存し、本製品を再起動します。これで実際にご使用になっている無線LAN環境で本製品を接続できるようになります。



引き続き、本製品を使ってプリンタを利用する各クライアントに必要な設定をします。

●すでに無線LAN環境を構築されている場合

本製品の設定ユーティリティを使用するにはTCP/IPプロトコルを使って無線LAN経由で本製品にアクセスする必要があります。そのため、TCP/IPプロトコルの設定状態が異なる無線LAN環境をすでにご使用の場合は、設定用の無線LAN環境を一時的に構築していただく必要があります。また、既存のネットワーク設定をメモしておいてください。メモするべき内容は次ページを参照してください。

◆メモする内容

| | |
|-------------|---|
| IPアドレス | 現在のネットワークで使用しているIPアドレス |
| サブネットマスク | 現在のネットワークで使用しているサブネットマスク |
| デフォルトゲートウェイ | 現在のネットワークでデフォルトゲートウェイを使用している場合、その数値 |
| ESS-ID | 無線LANのESS-IDの名称 |
| 通信チャンネル | アドホック・モードの場合の通信チャンネル |
| WEPキー | WEPキーを使用している場合、暗号の文字列 ※本製品は複数の暗号キーを持ったWEPの場合、暗号キー番号「1」しか使用できません。暗号化は64ビットまたは128ビットで使用できます。 |

●新しく無線LAN環境を構築される場合

この場合、本製品の初期値であるIPアドレス「192.168.1.xxx」、サブネットマスク「255.255.255.0」の環境で無線LANを構築していただくと、本製品のために一時的な無線LAN環境を構築せずに導入できます。なお、新しく無線LAN環境を構築される場合は、コンピュータ1台での環境で接続を確認したあと、本製品を無線LAN環境に追加するようにして設定してください。

※IPアドレス「192.168.1.xxx」、サブネットマスク「255.255.255.0」以外の環境を設定される場合は、設定用の無線LAN環境を一時的に構築していただく必要があります。

●WEP、MACアドレスフィルタリングの設定

本製品に接続する無線LANアダプタおよびアクセスポイントについて、本製品のWEP設定が有効になるまでは、WEP設定は「無効」にしておいてください。また、MACアドレスフィルタリングを有効にしている場合も、一時的に「無効」にしてください。

●WEPの暗号キー番号について **重要**

本製品のWEPには暗号キー番号がありません。ご使用になっている無線LAN環境に複数の暗号キー番号がある場合、暗号キー番号「1」を使用するようにしてください。他の暗号キー番号を使用した場合、本製品のWEPを有効にしても接続することはできません。

設定用の無線LAN環境を準備する

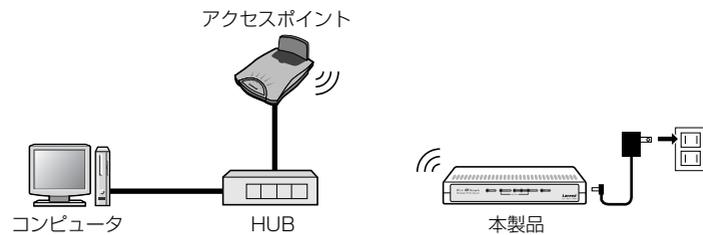
本製品の設定ユーティリティに無線LANを経由してアクセスするために必要な無線LAN環境を準備します。

用意する環境の通信モードを決める

本製品にアクセスする方法としては、アクセスポイントを使用するインフラストラクチャ・モードでアクセスする方法と、アクセスポイントを使用しないアドホック・モードでアクセスする2つの方法があります。はじめにどちらかの環境を準備してください。なお、ここではプリンタを接続する必要はありません。

●インフラストラクチャ・モードでアクセスする場合

コンピュータ1台とアクセスポイントを有線LANで接続し、本製品へはアクセスポイント経由で設定ユーティリティにアクセスします。ディップスイッチは変更する必要はありません。

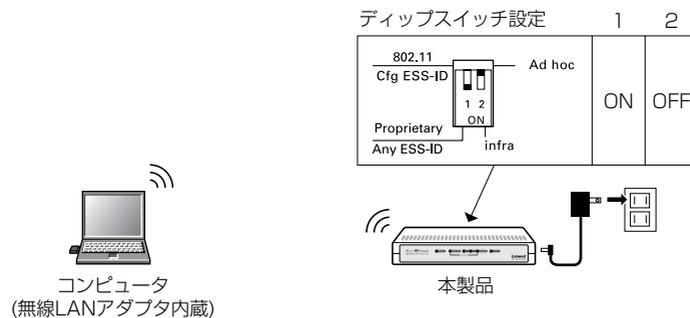


MEMO

- 無線LANアダプタを取り付けたコンピュータからアクセスポイントを経由して本製品を設定することもできますが、トラブル要因を減らすために有線LANから接続することをお勧めします。
- 無線LANアダプタを取り付けたコンピュータから本製品に接続したい場合は、アドホック・モードで接続することをお勧めします。

●アドホック・モードでアクセスする場合

無線LANアダプタを取り付けたコンピュータから本製品の設定ユーティリティにアクセスします。ディップスイッチを工場出荷時の状態から変更する必要があります。



ネットワーク設定を本製品の初期値に合わせる

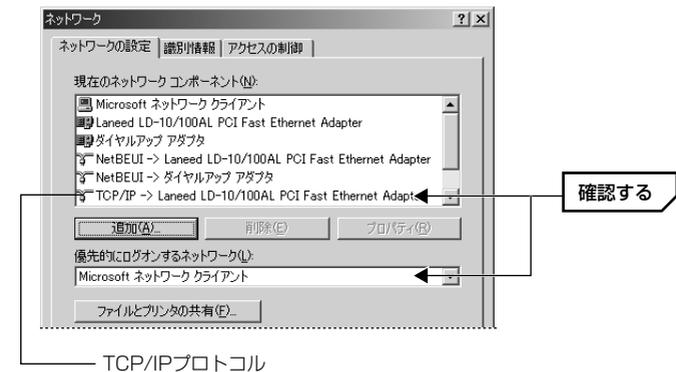
コンピュータ側のネットワーク設定を本製品の初期値に合わせます。ここでは、Windows Meを使っての例を説明します。Windows 98では、一部の項目の名称が異なる場合がありますが作業の手順を同じです。Windows 2000/NT 4.0では、ここでの説明を参考に設定してください。

◆本製品の初期値

| | |
|----------|---------------|
| IPアドレス | 192.168.1.200 |
| サブネットマスク | 255.255.255.0 |
| チャンネル※ | 6 |
| ESS-ID※ | Laneed |

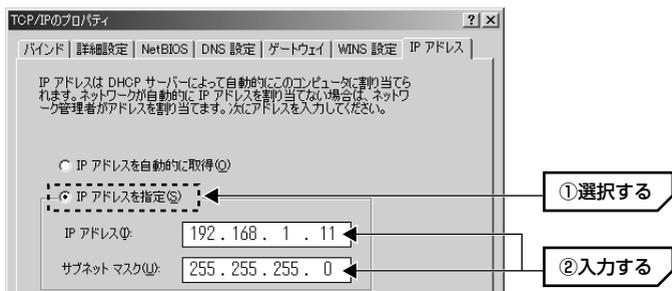
※ESS-ID、チャンネル設定はアドホック・モードの場合だけです。

- 1 本製品に接続するコンピュータの〈ネットワーク〉画面でTCP/IPプロトコルが登録されていることを確認します。また、優先的にログオンするネットワークが「Microsoft ネットワーククライアント」になっていることを確認します。



- ・詳しい確認の方法は34ページ「Windows Me/98での設定(TCP/IPプロトコル)」をお読みください。

- 2** 「TCP/IPプロトコル」を選択し「プロパティ」ボタンをクリックします。プロパティでIPアドレスとサブネットマスクの設定を変更します。画面の表示方法については36ページ手順 **1** を参照してください。



●変更の手順

- ① 「IPアドレスを指定」を選択します。
- ② 「IPアドレス」に「192.168.1.11」と入力し、「サブネットマスク」に「255.255.255.0」を入力します。
- ③ <TCP/IPのプロパティ> 画面にある **OK** ボタンをクリックします。
- ④ <ネットワーク> 画面にある **OK** ボタンをクリックします。
- ⑤再起動を確認する画面が表示されます。ここでは **いいえ** ボタンを選択し、そのまま設定を続けます。手順 **3** へ進みます。

- 3** 無線LANアダプタまたはアクセスポイントの設定ユーティリティを表示し、無線LANの設定をします。設定方法については、実際にご使用なる製品のマニュアルをお読みください。

◆無線LAN PCカード



弊社製 LD-WL11/PCCの例

◆アクセスポイント



弊社製 LD-WL11/APの例

●ESS-ID

「Laneed」と設定してください。大文字と小文字が区別されますので注意してください。インフラストラクチャ・モードの場合は設定を変更しなくても接続できます。

●チャンネル番号

アドホック・モードの場合はチャンネル番号を「6」に指定してください。インフラストラクチャ・モードの場合は設定の必要はありません。

●WEP/MACアドレスフィルタリング

これらの機能が設定されている場合は、無効(使用しない)に設定してください。

- 4** 無線LANの設定が終われば、Windowsのシステムを再起動してください。

これで設定ユーティリティに接続する準備は完了です。続いて本製品の設定ユーティリティに接続し、必要な設定をおこないます。

設定ユーティリティの内容を設定する

あらかじめ各機器の電源が入っていることを確認しておいてください。

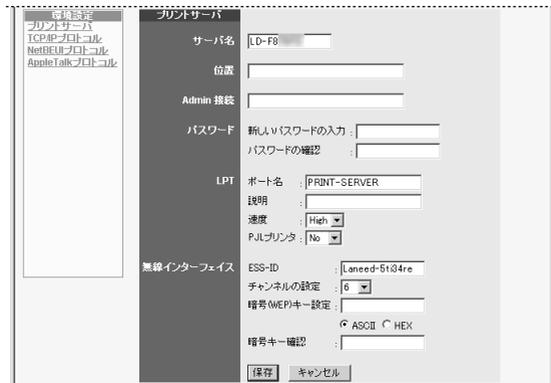
- 1** Microsoft Internet ExplorerなどのWebブラウザを表示します。「アドレス」に「http://192.168.1.200」と入力し、**Enter** キーを押します。



- 2** 設定ユーティリティの〈一般情報〉画面が表示されます。「環境設定」をクリックします。



- 3** 環境設定の〈プリントサーバ〉画面が表示されます。必要最小限の項目を設定し、Laneed LPRの設定に必要な内容をメモします。



●ESS-ID

実際にご使用になっている無線LANグループのESS-IDを入力します。入力できる文字数は半角32文字までです。大文字と小文字が区別されますので注意してください。

●チャンネルの設定

アドホック・モードでご使用の場合は、実際にご使用になるチャンネル番号を選択します。

●暗号(WEP)キー設定

実際にご使用になっている無線LANグループでWEP機能を利用している場合に、次の手順で設定します。なお、本製品はキー番号「1」に登録された暗号にだけ対応しています。キー番号が複数ある無線LANアダプタ、アクセスポイントを使用している場合は、キー番号「1」を使用するように設定してください。

- ① 「暗号(WEP)キー設定」で暗号の文字種を選択します。暗号が通常の文字列の場合は「ASCII」を選択します。暗号が16進数の場合は「HEX」を選択します。

- ② 「暗号(WEP)キー設定」に実際に使用している暗号キー番号の暗号だけを入力します。「ASCII」の場合は5文字の英数字を「HEX」の場合は10桁の16進数(A~Fの英文字と0~9の数字)を入力します。

・HEXの文字例「12F3C2BA90」

- ③ 同じ内容をもう一度「暗号キー確認」に入力します。

●ポート名

Laneed LPRの設定に使用しますのでメモしてください。名称を変更することもできます。使用できる文字は半角英数字とハイフン(-)です。入力できる文字数は32文字までです。

- 4** 設定が終われば「保存」ボタンをクリックします。設定が保存されます。



- 5 画面左のメニューにある「TCP/IPプロトコル」をクリックします。



- 6 <TCP/IPプロトコル>画面が表示されます。必要最小限の設定をします。次の3つの項目以外はここでは設定する必要はありません。



●IPアドレス

実際にご使用になっているネットワーク環境のIPアドレスに合わせた数値を入力します。設定を変更した場合はここにメモしてください。

初期値は「192.168.1.200」です。



- すでにネットワーク上で使用されているIPアドレス、およびDHCPサーバ機能を利用している環境では、DHCPサーバ機能の自動割り当ての範囲内にあるIPアドレスは使用しないでください。
- 「IP割り当て...」で「自動的に使用中のものを割り当てる」を選択し、割り当て方法を指定すると、本製品のIPアドレスをサーバ側から割り当てることができます。この場合、本製品のIPアドレスが動的に変化すると、Laneed LPRのIPアドレス設定およびプリンタポートの指定を、IPアドレスが変化するとに設定変更する必要が生じます。このような状態になることを防ぐためにサーバ側で本製品のMACアドレスとIPアドレスを関連付けてIPアドレスが固定されるようにしてください。IPアドレスの自動割り当ては、大規模ネットワークなどで管理者がサーバ側からクライアントを一元管理したい場合などだけに使用してください。

●サブネットマスク

実際にご使用になっているネットワーク環境と同じサブネットマスクを入力します。

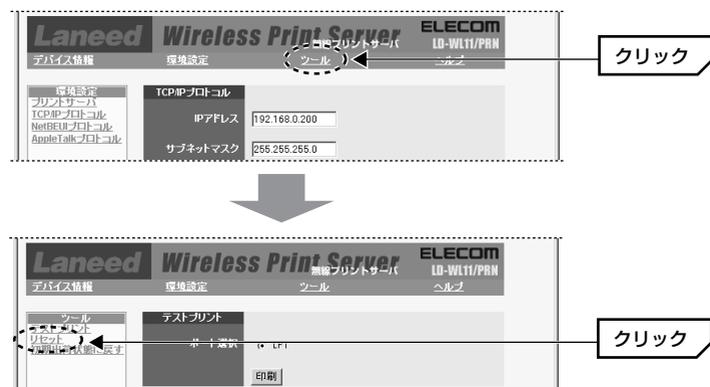
●デフォルトゲートウェイ

実際にご使用になっているネットワーク環境でデフォルトゲートウェイを設定している場合は、同じデフォルトゲートウェイを入力します。

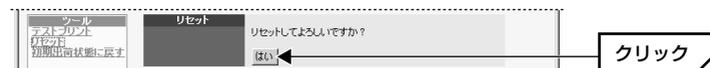
- 7 設定を変更した場合は、「保存」ボタンをクリックします。



- 8 画面上で「ツール」メニューをクリックし、さらに画面左に表示された「ツール」メニュー一覧から「リセット」をクリックします。



- 9 保存した内容に設定を変更するためにリセットします。「はい」ボタンをクリックします。



・これで既存の無線LAN環境、または新しく構築する無線LAN環境に接続する準備ができました。



「はい」ボタンをクリックすると保存した内容に変更されます。そのため、設定用に構築したネットワークのコンピュータから本製品にアクセスすることはできなくなります。

10 本製品を既存の無線LAN環境、または新しく構築する無線LAN環境に接続します。

・接続方法は19ページ「5.本製品の接続例」をお読みください。

11 既存の環境にあるコンピュータのWebブラウザを表示します。「アドレス」に「http://」と入力してさらに、手順 **6** でメモしたIPアドレスを入力し、**Enter** キーを押します。

(例)192.186.0.200に設定した場合→「http://192.168.0.200」と入力します。



12 本製品の設定ユーティリティが表示されれば設定は完了です。



引き続き、各クライアント(コンピュータ)から印刷できるように必要な設定をします。次ページ「クライアント側の設定をする」へ進みます。

7 クライアント側の設定をする

Laneed

ネットワーク上の各クライアント(コンピュータ)に必要な設定をします。

●設定の手順



※ブロードバンドルータまたはISDNルータなどで、すでにインターネットに接続しているネットワーク環境では、TCP/IPプロトコルの確認とIPアドレスの設定は必要ありません。

プリンタドライバをインストールする

本製品に接続しているプリンタのプリンタドライバを各クライアント(コンピュータ)にインストールしてください。プリンタドライバは印刷を実行するすべてのクライアントに必要です。プリンタドライバのインストール方法は、プリンタに付属のマニュアルをお読みください。

Windows Me/98での設定(TCP/IPプロトコル)

ここでは、Windows Me/98におけるTCP/IPプロトコルの確認方法とIPアドレスの設定方法を説明します。画面例はWindows Meを使用しています。Windows 98では、項目の名称等が一部異なりますが手順は同じです。

TCP/IPプロトコルの確認方法

- 1** [スタート]→[設定]→[コントロールパネル]の順に選択し、コントロールパネルにある「ネットワーク」をダブルクリックします。



・Windows Meでよく使うコントロールパネルだけが表示されている場合は、「すべてのコントロールパネルのオプションを表示する。」をクリックすると「ネットワーク」が表示されます。

- 2** 「ネットワーク」画面が表示されます。一覧にTCP/IPプロトコルが登録されていることを確認します。



- ご使用の環境により実際に一覧に表示されるイーサネットアダプタの名称やコンポーネントの内容は、この画面例とは異なります。
- アダプタがひとつしかない場合は、「TCP/IP」とだけ表示されます。ダイヤルアップアダプタなどがあるため、アダプタ名が複数ある場合は、「TCP/IP->(アダプタ名)」というように表示されます。(アダプタ名)に、ご使用中のイーサネットアダプタのアダプタ名が表示された「TCP/IP」プロトコルがあることを確認してください。

・TCP/IPが見あたらない場合は、次の「TCP/IPプロトコルの追加方法」へ進みます。TCP/IPがあった場合は、36ページ「Windows Me/98での設定(IPアドレス)」へ進みます。

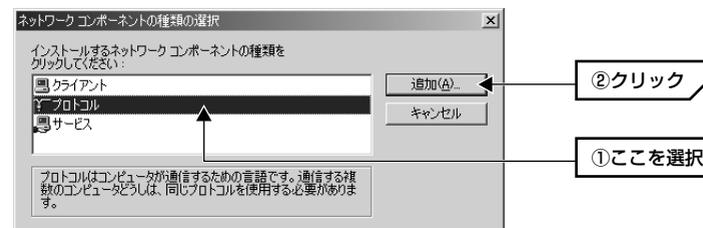
TCP/IPプロトコルの追加方法

- 1** 【ネットワークの設定】タブで **追加** ボタンをクリックします。



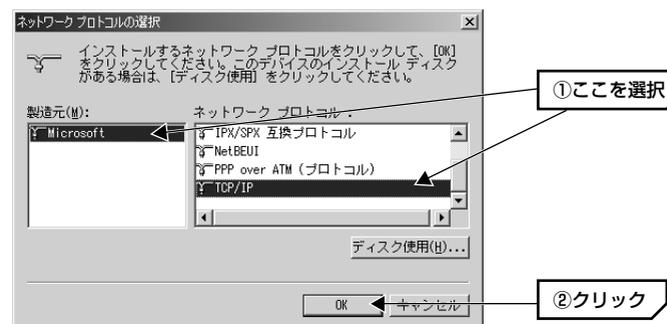
※一覧に表示される内容は、アダプタの種類、ネットワークの環境により異なります。

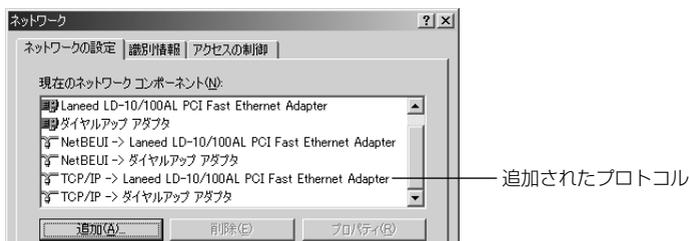
- 2** インストールするネットワークコンポーネントとして「プロトコル」を選択し、**追加** ボタンをクリックします。



・「ネットワークプロトコルの選択」画面が表示されます。

- 3** 製造元で「Microsoft」を、プロトコルで「TCP/IP」を選択します。**OK** ボタンをクリックします。



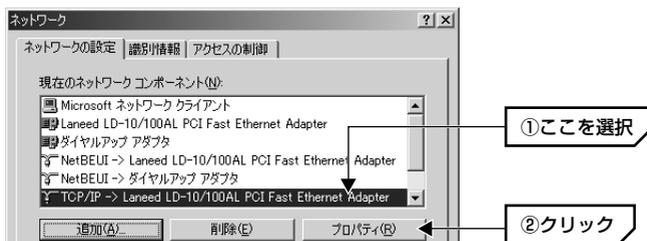
4 プロトコルが追加されたことを確認します。

IPアドレスの設定を確認します。次の「Windows Me/98での設定 (IPアドレス)」へ進みます。

Windows Me/98での設定 (IPアドレス)

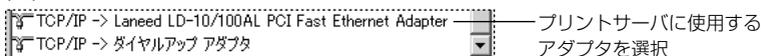
IPアドレスの設定方法

IPアドレスの設定を確認します。必要に応じてIPアドレス等の設定を変更します。

1 一覧のTCP/IPプロトコルを選択し、**プロパティ** ボタンをクリックします。

・アダプタが複数登録されている場合は、「TCP/IP->○○○○」のように複数のTCP/IPが表示されますので、プリントサーバに使用するアダプタが表示されたTCP/IPを選択します。

(例)

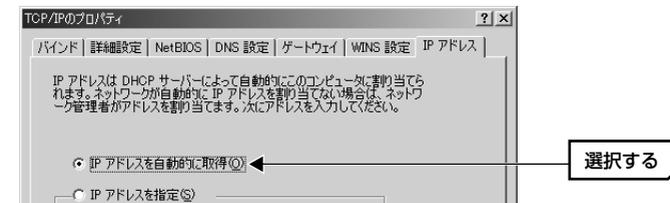


※ご使用になっているアダプタによって表示される名称は異なります。

2 <TCP/IPのプロパティ> 画面の【IPアドレス】タブが表示されます。DHCPサーバの有無に合わせて設定します。

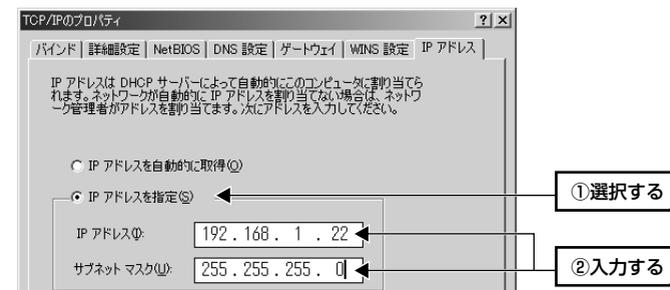
●DHCPサーバを使用している場合

「IPアドレスを自動的に取得」を選択します。

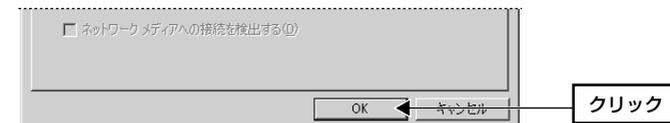


●DHCPサーバ機能を使用していない場合

「IPアドレスを指定」を選択し、IPアドレスとサブネットマスクを入力します。



- ・ネットワークに関する詳しい知識がない場合は、上位3組の数字を「192.168.1」とし、4組目は「11」から順に各コンピュータに割り当てます。➡15ページの構成例を参照してください。
- ・特に指示がない場合、サブネットマスクは「255.255.255.0」を設定してください。

3 設定が終われば **OK** ボタンをクリックします。

・<ネットワーク> 画面に戻ります。

- 4** 〈ネットワーク〉画面の **OK** ボタンをクリックします。設定を変更した場合は、再起動を促す画面が表示されますが、ここでは **いいえ** ボタンをクリックします。

これでIPアドレスの設定は完了です。次ページ「Laneed LPRをインストールする」へ進みます。

Windows 2000での設定

「ローカルエリア接続」のプロパティを表示し、必要な設定をおこないます。

プロパティの表示方法

- ①Windows 2000にはAdministrator権限でログオンしておきます。
- ②[スタート]→[設定]→[ネットワークとダイヤルアップ接続]を開きます。
- ③〈ネットワークとダイヤルアップ接続〉画面が表示されますので、[ローカルエリア接続]を右クリックし、メニューから[プロパティ]を選択します。
- ④〈ローカルエリア接続のプロパティ〉画面が表示されます。

※[ローカルエリア接続]の名称は、アダプタをインストールした環境によって変わります。〈ローカルエリア接続のプロパティ〉画面に表示されるアダプタ名から、ネットワークを設定するアダプタであるかを確認してください。

設定の確認方法

- ①インターネットプロトコル(TCP/IP)が登録されていることを確認します。
- ②プロパティでDHCPサーバがある場合は「IPアドレスを自動的に取得する」に設定し、各クライアントに手動でIPアドレス等を割り当てる場合は「次のIPアドレスを使う」を選択し、IPアドレス等を設定します。
- ③これで設定は完了です。次ページの「Laneed LPRをインストールする」へ進みます。

Laneed LPRをインストールする



Laneed LPRのライセンスについて

Laneed LPRは本製品1台につき、コンピュータ5台までインストールすることができます。6台以上のコンピュータにインストールする場合は、別途「ELECOM LPR MLP(5ライセンスパック)」＝¥9,800を利用数だけご購入いただく必要があります。ご購入については、弊社ラニード・サポートセンターへご連絡ください。

- 1** 付属のCD-ROMディスクをドライブに入れます。

・自動的にインストーラが起動します。インストーラが起動しない場合は、マイコンピュータなどでCD-ROMの内容を表示し、「Install(.exe)」をダブルクリックします。

- 2** **Laneed LPRのインストール** ボタンをクリックします。



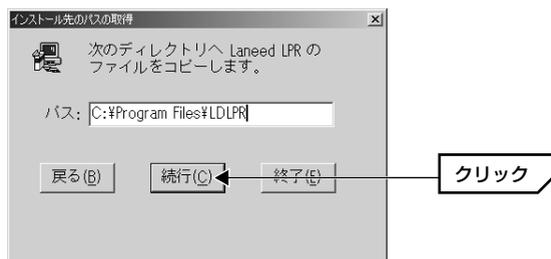
- 3** **続行** ボタンをクリックします。



- 4** シリアル番号を入力し、**続行** ボタンをクリックします。シリアル番号は付属のCD-ROMディスクに記載されている9桁-9桁の数字です。



- 5** インストール先を指定し、**続行** ボタンをクリックします。通常は変更する必要はありません。



- 6** インストールが完了したことを知らせるメッセージが表示されます。**OK** ボタンをクリックします。



これで「Laneed LPR」のインストールは完了です。

- ・ドライブからCD-ROMディスクを取り出し、大切に保管してください。

8 ポートの設定とテスト印刷

Laneed

Laneed LPRとプリンタのプロパティで必要な設定をおこないます。すべての設定が終わればテスト印刷を実行して、正常に設定が完了したかを確認します。

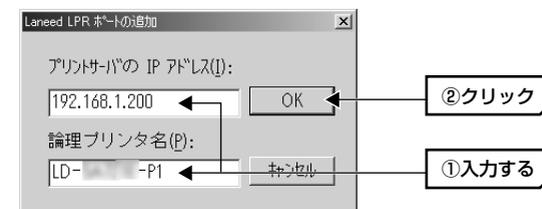
Laneed LPRを設定する

- 1** [スタート]→[プログラム]→[Laneed LPR]→[Laneed LPRの設定]を選択します。〈Laneed LPR設定〉画面が表示されます。

- 2** **ポートの追加** ボタンをクリックします。



- 3** プリントサーバに割り当てるIPアドレスと論理プリンタ名を入力し、**OK** ボタンをクリックします。



●プリントサーバのIPアドレス

設定ユーティリティで設定したIPアドレスを入力します(⇒30ページ参照)。なお、初期値のまま変更していない場合は「192.168.1.200」を入力します。

●論理プリンタ名

設定ユーティリティで設定したポート名を入力します(⇒29ページ参照)。

- 4** 設定した内容が一覧に表示されます。すべての設定が終われば、**設定終了** ボタンをクリックします。



これでLaneed LPRの設定は完了です。続いて各クライアントにプリンタの設定をします。44ページ「プリンタの設定をする」へ進みます。

・ Laneed LPRに登録したポート情報を保存したり、保存した内容を読み出したりできます。詳しくは次ページ「登録したポート情報の保存」をお読みください。

MEMO 登録したポートを削除するには・・・

Laneed LPRを起動し、「プリントサーバ用ポート一覧」で削除したいポートを選択してから、**ポートの削除** ボタンをクリックします。

登録したポート情報を保存する

登録したポート情報をファイルに保存することができます。同じ設定を複数のコンピュータに設定したい場合や、一度アンインストールしたあとで、もう一度設定したい場合などに使用できます。

ポート情報の保存

- ① Laneed LPRを起動し、【ファイル】メニューの「保存」を選択します。
- ② <名前を付けて保存>画面が表示されます。保存場所とファイル名を指定して、**保存** ボタンをクリックします。
- ③ 保存されたことを知らせるメッセージが表示されます。**OK** ボタンをクリックします。

ポート情報の読み込み

- ① Laneed LPRを起動し、【ファイル】メニューの「開く」を選択します。
- ② 保存したファイルを指定し、**開く** ボタンをクリックします。
- ③ 読み込みを確認するメッセージが表示されます。**OK** ボタンをクリックします。
- ④ 読み込まれたことを知らせるメッセージが表示されます。**OK** ボタンをクリックします。

プリンタの設定をする

ここでは、Windows Meの画面を使用しています。Windows 98も同じ手順で設定できます。

MEMO Windows 2000での設定

ワープロソフトやWebブラウザなどで適当な内容を表示し、印刷機能を選択します。この説明を参考に、印刷先のポートで「プリントサーバのIPアドレス：論理プリンタ名(Laneed LPRポート)」を選択してください。
(例) 192.168.1.200 : LD-5AxxE1 (Laneed LPRポート)

- 1 プリンタを使用するクライアント(コンピュータ)に、あらかじめ「Laneed LPR」とプリンタのドライバをインストールしておきます。

- ・「Laneed LPR」のインストール方法は、39ページ「Laneed LPRをインストールする」をお読みください。
- ・プリンタドライバのインストール方法はプリンタのマニュアルをお読みください。

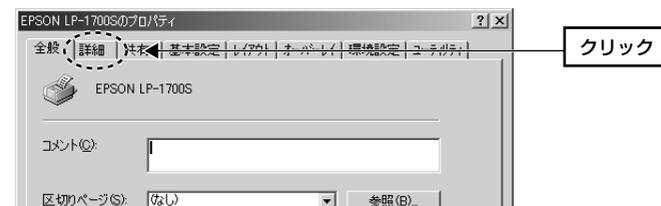
- 2 [スタート]→[設定]→[プリンタ]を選択します。

- 3 使用するプリンタ名にマウスのポインタを合わせて右クリックします。「プロパティ」を選択します。



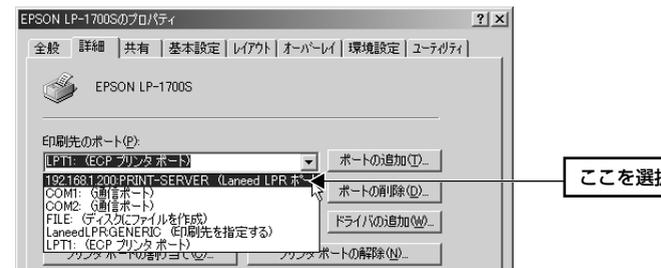
- ・ここでは、例としてプリンタにEPSON LP-1700Sを接続しています。

- 4 【詳細】タブをクリックします。



- ・表示されるタブの数や種類はプリンタの機種によって変化します。

- 5 「印刷先のポート」のプルダウンメニューを表示し、「プリントサーバのIPアドレス：論理プリンタ名(Laneed LPRポート)」を選択します。【詳細】タブを選択します。



※画面例：「192.168.1.200 : PRINT-SERVER(Laneed LPR)」

- ・初期値で設定している場合は「192.168.1.200 : LD-xxxxxx-P1 (Laneed LPRポート)」となります。「xxxxxx」はプリントサーバの下6桁のMACアドレスです。

- 6 プリンタのプロパティの「OK」ボタンをクリックします。



- ・〈プリンタ〉画面を閉じます。

7 ワードソフトやWebブラウザなどで適当な内容を表示し、印刷機能を選択します。

8 「プリンタ名」に使用するプリンタ名が表示され、「場所」に「プリントサーバのIPアドレス：論理プリンタ名」が選択されていることを確認します。表示されている内容をテスト印刷します。



- ・正常に接続されている場合は、「状態」に「使用可能」と表示されます。
- ・用紙設定等は環境に合わせて設定してください。

9 設定が正しければ画面に表示されていたページが印刷されます。

これでプリントサーバが利用できるようになりました。各クライアントで同じように設定してください。

9 設定画面のリファレンス

Laneed

設定ユーティリティの画面ごとの各項目について説明しています。

デバイス情報

システム情報

本製品のシステムに関する情報を表示します。「更新」ボタンをクリックすると表示内容が最新の情報に更新されます。



●サーバ名

プリントサーバ画面で設定したサーバ名が表示されます。

●モデル

本製品の製品型番です。

●ハードウェアバージョン

本製品のハードウェアバージョンです。

●ファームウェアバージョン

本製品のファームウェアバージョンです。ファームウェアのバージョンアップのとき、現在のバージョンを知ることができます。

●MACアドレス

本製品のMACアドレスです。アクセスポイントでMACアドレスフィルタリングを有効にしている場合には、このMACアドレスのアクセスを許可するように設定してください。

●IPアドレス

TCP/IPプロトコル画面で設定した本製品のIPアドレスです。初期値は「192.168.1.200」です。

●起動時間

本製品が起動してからの経過時間が表示されます。

プリンタポート情報

プリンタポートの情報を表示します。**更新** ボタンをクリックすると表示内容が最新の情報に更新されます。



●ポート名

現在のプリンタポートのポート名を表示します。この名称は「Laneed LPR」ソフトウェアの「論理プリンタ名」にあたります。

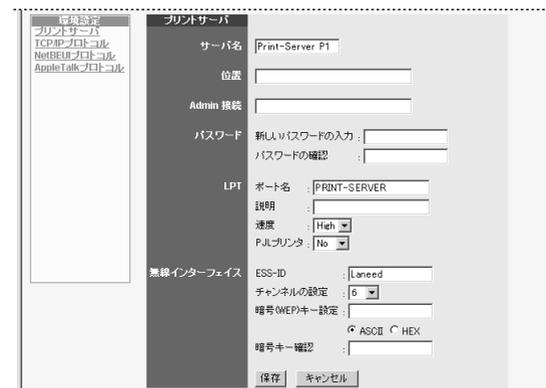
●接続状況

本製品のプリンタポートに接続されてプリンタの状態を表示します。「On Line」なら印刷可能な状態を示します。「Off Line」ならプリンタの電源が切れているなど、印刷不可の状態を示します。

環境設定

プリントサーバ

プリントサーバとしての設定内容を表示します。設定を変更した場合は、必ず**保存** ボタンをクリックします。また、すべての設定が終われば、[ツール]→[リセット]でリセットしてください。



●サーバ名

プリントサーバの名称を設定します。初期値はLD-(本製品のMACアドレス下6桁)です。複数のプリントサーバを使用している場合は、同じ名称にならないように設定してください。入力できる文字については下記の注意を参照してください。

MEMO

サーバ名に使用できる文字は半角15文字までです。英数字のほか「-」が使用できます。大文字/小文字は区別されません。全角文字を使用した場合、環境によっては正常に動作しません。また、以下の名称と重ならないように設定してください。

- ・ Novell NetWareファイルサーバ
- ・ Novellネットワーク用に構成されたプリントサーバ
- ・ Microsoftネットワーククライアントまたはサーバ

●位置/Admin接続

NetWareでTCP/IPプロトコルを使用する場合に設定します。NetWareでTCP/IPプロトコルを使用する場合に設定します。それぞれ半角英数字で48文字まで入力できます。

●パスワード

この設定ユーティリティにアクセスするためのパスワードを設定できます。初期値ではパスワードは設定されていません。半角英数字8文字まで入力できます。「新しいパスワードの入力」にパスワードを入力したあと、「パスワードの確認」に同じパスワードを入力します。

※ネットワーク管理者以外が設定できないようにパスワードを設定することをお勧めします。

●LPT

・ポート名

Laneed LPRの論理プリンタ名の登録に必要な名称です。初期値はLD-(本製品のMACアドレス下6桁)-P1です。入力できる文字は、半角英数字と「-」で48文字までです。DOS上のクライアントがある場合は8文字までです。

・説明

ポート名に関するコメントを入力できます。半角で128文字まで入力できます。

・速度

ポートに接続しているプリンタとの通信速度を設定します。

[High] ……プリンタが高速データ送信に対応している場合に選択します。

[Low] ……プリンタが高速に対応していない場合や、印刷時に文字が書けるなどの問題が発生する場合に選択します。

●PJLプリンタ

[Yes] ……プリンタがHewlett PackardのPJL互換の場合に選択します。

[No] ……PJL互換でない場合に選択します。

●無線LAN

・ESS-ID

無線LANグループで現在使用しているESS-IDを入力します。半角英数字32文字まで入力できます。大文字と小文字が区別されますので注意してください。ESS-IDが異なると本製品にアクセスすることはできません。

・チャンネル

アドホック・モードでご使用の場合は、実際に使用しているチャンネル番号を選択します。

・暗号(WEP)キー設定

WEPによる暗号キーの設定項目です。設定方法はこのあとの「暗号キーの設定方法」をお読みください。

●暗号キー設定方法

実際にご使用になっている無線LANグループでWEP機能を利用している場合に、次の手順で設定します。なお、本製品はキー番号「1」に登録された暗号にだけ対応しています。ほかのキー番号を使用している場合は、キー番号「1」を使用するように変更してください。

①「暗号(WEP)キー設定」で暗号の文字種を選択します。暗号が通常の文字列の場合は「ASCII」を選択します。暗号が16進数の場合は「HEX」を選択します。

②「暗号(WEP)キー設定」に実際に使用している暗号キー番号の暗号だけを入力します。「ASCII」の場合は5文字の英数字を「HEX」の場合は10桁の16進数(A~Fの英文字と0~9の数字)を入力します。

・HEXの文字例「12F3C2BA90」

③同じ内容をもう一度「暗号キー確認」に入力します。

TCP/IPプロトコル

TCP/IPプロトコルに関連する内容を表示します。設定を変更した場合は、必ず **保存** ボタンをクリックします。また、すべての設定が終われば、[ツール]→[リセット]でリセットしてください。

●IPアドレス

本製品のIPアドレスを設定します。初期値は「192.168.1.200」です。「IP割り当て…」で「マニュアル割り当て」を選択している場合に、ここにIPアドレスを入力します。マニュアル割り当ての場合は、すでにネットワーク上で使用されているIPアドレスを割り当てないようにしてください。また、DHCPサーバなどIPアドレスが自動的に割り当てられる環境では、自動割り当ての範囲外に本製品のIPアドレスを設定してください。

「自動的に使用中のものに割り当てる」を選択している場合は、自動的に割り当てられたIPアドレスが表示されます。

●サブネットマスク

実際にご使用になっているネットワーク環境と同じサブネットマスクを入力します。

●デフォルトゲートウェイ

実際にご使用になっているネットワーク環境でデフォルトゲートウェイを設定している場合は、同じデフォルトゲートウェイを入力します。

●IP割り当て

・マニュアル割り当て

「IPアドレス」に入力した数値でIPアドレスを固定します。この場合、「IPアドレス」に入力するIPアドレスは、すでにネットワーク上で使用されているIPアドレスと重ならないように注意してください。また、DHCPサーバなどIPアドレスが自動的に割り当てられる環境では、自動割り当ての範囲外に本製品のIPアドレスを設定してください。

・自動割り当て

RARP、BOOTP、DHCPのいずれかを使用している環境では、本製品のIPアドレスを自動割り当てにすることができます。



「IP割り当て…」で「自動的に使用中のものに割り当てる」を選択し、割り当て方法を指定すると、本製品のIPアドレスをサーバ側から割り当てることができません。この場合、本製品のIPアドレスが動的に変化すると、Laneed LPRのIPアドレス設定およびプリンタポートの指定を、IPアドレスが変化するたびに設定変更する必要があります。このような状態になることを防ぐためにサーバ側で本製品のMACアドレスとIPアドレスを関連付けてIPアドレスが固定されるようにしてください。IPアドレスの自動割り当てでは、大規模ネットワークなどで管理者がサーバ側からクライアントを一元管理したい場合などだけに使用してください。

●SNMPコミュニティ1～3

SNMP(Simple Network Management Protocol)はネットワークを管理するためのプロトコルです。異なるメーカーのネットワーク機器が混在する環境でも、それらの機器を集中管理することができます。本製品はSNMP Management Information Base MIB-IIをサポートしています。本製品では3種類までのコミュニティ名を設定できます。

・名前

コミュニティ名を設定します。SNMP(バージョン1)では、各ネットワーク機器にコミュニティ名を設定することで管理をおこないます。この名前は各機器へのアクセスを制御するためのパスワードとして使われます。半角英数字32文字まで入力できます。認識できない名前を受け取ると、オーセンティケーショントラップを開始します。コミュニティ名は、お使いのネットワーク管理システムで使うコミュニティ名と同じ名前に設定します。

・アクセス権

各コミュニティのアクセス権を設定します。
[Read/Write] ……読み書き可能にします。
[Read Only] ……読み込み専用にします。

NetBEUIプロトコル

NetBEUIプロトコルに関連する内容を表示します。設定を変更した場合は、必ず **保存** ボタンをクリックします。また、すべての設定が終われば、[ツール]→[リセット]でリセットしてください。



●ワークグループ

プリントサーバに割り当てるワークグループ名を入力します。NetBEUIプロトコルを使用する場合は、ご使用のネットワークのワークグループ名と同じ名称を入力します。半角で15文字まで入力できます。

●リミッタ設定

・[最大のステーション数]

プリントサーバへの接続を許可するステーション数の上限を設定します。初期値は32です。

・[最大セッション数]

セッション数の上限を設定します。初期値は32です。



[最大ステーション数]と[最大セッション数]の数値が高すぎると、ネットワークの負荷が大きくなり、パフォーマンスが低下することがあります。

AppleTalkプロトコル

AppleTalkプロトコルに関連する内容を表示します。設定を変更した場合は、必ず **保存** ボタンをクリックします。また、すべての設定が終われば、[ツール]→[リセット]でリセットしてください。



●AppleTalkゾーン

AppleTalkネットワークがいくつかのAppleTalkゾーンに分かれている場合は、どのゾーンにプリントサーバを割り当てるかを設定します。多くのユーザが使用するゾーンと同じゾーンを指定してください。ゾーンに分かれていない場合またはローカルゾーンを指定する場合は「*」を入力します。

●LPT

・[セレクトラ]

現在選択しているサーバ名が表示されます。

・[プリンタタイプ]

「LaserWriter」が設定されています。Lanetdプリントサーバは、AppleTalkプロトコルではLaserWriter以外のプリンタには対応していません。

・[PostScript Level]

プリンタの機能に応じて「Level 1」「Level 2」のいずれかを選択します。お使いのプリンタが「Level 2」をサポートしていない場合は「Level 1」を選択します。詳しくは、お使いのプリンタの取扱説明書をご覧ください。

・[フォントグループ]

| | |
|-------------|---|
| No Font | 印刷時にコンピュータにあるフォントをプリンタにダウンロードします。 |
| All Fonts | コンピュータにあるフォントを使用せず、常にプリンタのフォントを使用します。 |
| Standard 35 | Adobeのフォントセットを使用します。プリンタにフォントセットがない場合はコンピュータからダウンロードします。 |
| Standard 13 | Standard 35のサブセットであるStandard 13を使用します。プリンタにフォントがない場合はコンピュータからダウンロードします。 |

ツール

テストプリント

印刷 ボタンをクリックすることで、テスト印字ができます。なお、本製品ではポート選択は不要です。



リセット

「環境設定」で設定を変更した場合、保存した内容を有効にするにはリセット操作が必要です。**リセット** ボタンをクリックすることで、保存した内容が有効になります。



初期出荷状態に戻す

何らかの理由で、本製品のすべての設定を工場出荷時の初期値に戻したい場合は、**はい** ボタンをクリックします。



すべての設定内容が初期化されます。無線LANの設定内容が本製品の初期値と異なる場合は、初期化した時点で本製品にアクセスできなくなります。設定を最初から設定をやり直してください。

10 ファームウェアを更新する

Laneed

本製品のファームウェアをバージョンアップするには付属のCD-ROMにある管理ソフトウェア「LD-PS Admin」を使用する必要があります。本製品のバージョンアップを実行する管理用のコンピュータだけにインストールしてください。また、LD-PS Adminをインストールしたコンピュータには、IPX/SPXプロトコルをインストールする必要があります。

IPX/SPXプロトコルを登録する

「LD-PS Admin」をインストールするコンピュータには、IPX/SPXプロトコルが必要です。ここではIPX/SPXプロトコルの登録方法を説明します。

- ・ Windows Me/98 → このあとの「Windows Me/98での設定」へ
- ・ Windows 2000 → 59ページ「Windows 2000での設定」へ



IPX/SPXプロトコルが必要なのは、LD-PS Adminをインストールするコンピュータだけです。

Windows Me/98での登録方法

- 1 [スタート]→[設定]→[コントロールパネル]の順に選択し、コントロールパネルにある「ネットワーク」をダブルクリックします。



ネットワーク

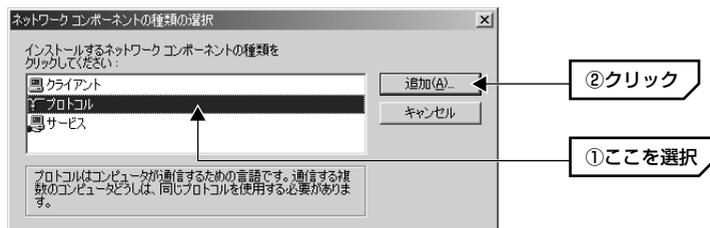
- ・ Windows Meでよく使うコントロールパネルだけが表示されている場合は、「すべてのコントロールパネルのオプションを表示する。」をクリックすると「ネットワーク」が表示されます。

- 2 [ネットワークの設定] タブで **追加** ボタンをクリックします。



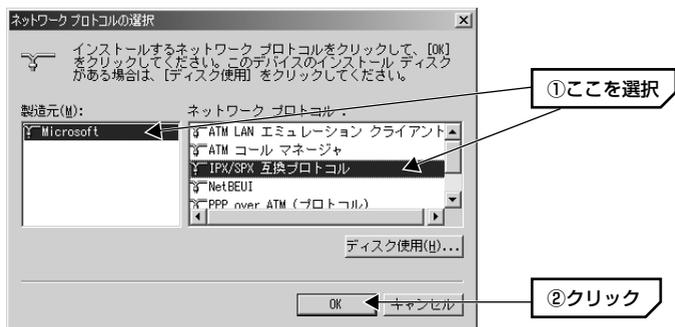
※一覧に表示される内容は、アダプタの種類、ネットワークの環境により異なります。

- 3** インストールするネットワークコンポーネントとして「プロトコル」を選択し、**追加** ボタンをクリックします。



・〈ネットワークプロトコルの選択〉画面が表示されます。

- 4** 製造元で「Microsoft」を、プロトコルで「IPX/SPX」を選択します。**OK** ボタンをクリックします。



- 5** プロトコルが追加されたことを確認します。



これでIPX/SPXプロトコルの登録は完了です。続いて設定ユーティリティ「LD-PS Admin」をインストールします。次ページの「LD-PS Adminをインストールする」へ進みます。

- ・〈ネットワーク〉画面で **OK** ボタンをクリックすると、再起動を促すメッセージが表示されますので再起動します。
- ・Windows OSのディスクを挿入するように要求された場合は、メッセージに従って操作します。

Windows 2000での設定

Windows 2000でのIPX/SPXプロトコルの追加手順を簡単に説明します。

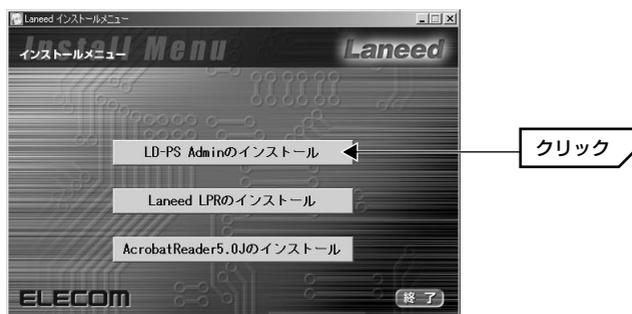
- ①Windows 2000にはAdministrator権限でログオンしておきます。
- ②[スタート]→[設定]→[ネットワークとダイヤルアップ接続]を開きます。
- ③〈ネットワークとダイヤルアップ接続〉画面が表示されますので、[ローカルエリア接続]を右クリックし、メニューから[プロパティ]を選択します。
- ④〈ローカルエリア接続のプロパティ〉画面が表示されます。
※[ローカルエリア接続]の名称は、アダプタをインストールした環境によって変わります。
- ⑤ **インストール** ボタンをクリックします。
- ⑥ 「プロトコル」を選択し、**追加** ボタンをクリックします。
- ⑦ 「NWLink IPX/SPX/NetBIOS互換トランスポートプロトコル」を選択し、**OK** ボタンをクリックします。
- ⑧これで、IPX/SPXプロトコルが追加されましたので、〈ローカルエリア接続のプロパティ〉画面を閉じます。
- ⑨このあとは、次の「LD-PS Adminをインストールする」へ進みます。

LD-PS Adminをインストールする

付属のCD-ROMにあるLD-PS Adminをインストールします。

- 1 付属のCD-ROMディスクをドライブに入れます。
・自動的にインストーラが起動します。インストーラが起動しない場合は、マイコンピュータなどでCD-ROMの内容を表示し、「Install(.exe)」をダブルクリックします。

- 2 LD-PS Adminのインストール ボタンをクリックします。



- 3 画面の指示に従って、「次へ」ボタンをクリックします。

- 4 インストール先を指定する画面が表示されます。通常はそのまま変更する必要はありませんので、「次へ」ボタンをクリックします。

- 5 ディレクトリが存在しない場合、作成するか確認するメッセージが表示されますので、その場合は「はい」ボタンをクリックします。

- 6 インストールが完了すると、「セットアップの完了」画面が表示されますので、「終了」ボタンをクリックします。

これでインストールは完了です。次ページの「ファームウェアを更新する」へ進みます。

ファームウェアを更新する

- 1 あらかじめ、弊社のホームページ(<http://www.elecom-laneed.com>)より、本製品のファームウェアをダウンロードしておきます。

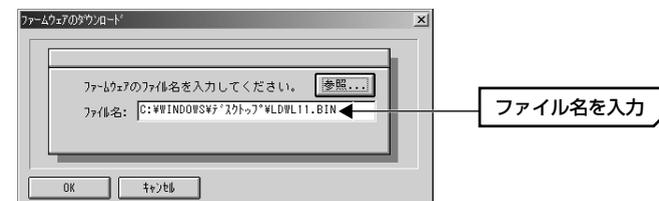
- 2 [スタート]→[プログラム]→[Laneed LD-PS Admin]を選択します。

・インストール先を変更している場合は、その設定に合わせて選択します。

- 3 [サーバ名]の一覧から本製品のサーバ名を選択し、[ツール]にある「ファームウェアのダウンロード」をクリックします。



- 4 <ファームウェアのダウンロード>画面が表示されますので、ファイル名に弊社のホームページなどからダウンロードしたファームウェアのファイルを指定します。



・「参照」ボタンをクリックするとフォルダのリストからファイルを指定することができます。

- 5** ファイル名を指定したら、**OK** ボタンをクリックします。



- 6** 作業中の注意を促すメッセージが表示されますので、**OK** ボタンをクリックします。



ファームウェアの更新中は次の点にご注意ください。

- ・プリントサーバ、アクセスポイントなどファームウェアの更新に関する機器の電源を切らないでください。
- ・すべてのクライアントから印刷を実行しないようにしてください。

- 7** 作業が完了するとメッセージが表示されますので、**OK** ボタンをクリックします。



- 8** これでファームウェアの更新作業は完了です。LD-PS Adminの画面右上にあるをクリックして終了してください。

- ・環境ファイルの保存画面が表示された場合、保存する場合は **はい** ボタンを保存しない場合は **いいえ** ボタンをクリックします。
- ・LD-PS Adminをファームウェアの更新だけに使用している場合は保存しなくても構いません。
- ・Webブラウザで更新した設定ユーティリティが表示されるか確認してください。

11 こんなときは

Laneed

本製品にアクセスできない(設定をまだしていないとき)

- 実際の環境で使用できるようにするには、あらかじめ本製品の初期値に設定を合わせて、設定ユーティリティにアクセスします。必要な準備はしましたか？

➔本製品は無線LAN経由でしか設定ユーティリティにアクセスできません。そのため、ご使用の無線LAN環境と本製品の初期値(IPアドレス、ESS-IDなど)が異なる状態では、設定ユーティリティにアクセスすることはできません。はじめに、本製品の設定ユーティリティにアクセスできる環境を構築してください。詳しくは22ページをお読みください。

- WEPやMACアドレスフィルタリングが有効になっていませんか？

➔IPアドレス、ESS-IDの設定値を合わせた場合でも、WEP機能が有効だとアクセスすることはできません。また、MACアドレスフィルタリングが有効になっている場合は、本製品のMACアドレスにアクセスを許可するように設定しないと、本製品にアクセスすることはできません。アクセスできることを確認するまで無効にするようにしてください。

- アドホック・モードでアクセスする場合、ディップスイッチの設定を変更しましたか？

➔アドホック・モードでアクセスする場合は、IPアドレスやESS-IDなどの設定以外にディップスイッチを変更する必要があります。19ページをお読みになり設定を変更してください。なお、802.11アドホック・モードは選択しないようにしてください。

- インフラストラクチャ・モードの場合、アクセスポイントまでは正しくアクセスできていますか？

➔pingコマンドを使って、どこまで正しくアクセスできているかを確認してください。Pingコマンドでアクセスポイントが認識されていない場合は、先にアクセスポイントが正常に認識されるように設定してください。詳しくはアクセスポイントのマニュアルをお読みください。pingコマンドについては、67ページ「pingコマンドを使う」をお読みください。

本製品にアクセスできない(設定を変更したあと)

●すべての設定を正しく設定しましたか？

→実際に使用する環境に合わせた設定をしていますか。設定が1カ所でも正しくないと本製品にアクセスできません。ESS-IDは大文字と小文字を区別しますので注意してください。

●ディップスイッチの設定は正しいですか？

→変更した内容によっては、ディップスイッチの設定を変更する必要がある場合があります。12ページの設定を確認してください。

●WEPの設定方法を間違っていないですか？

→本製品は無線LAN経由でしか設定ユーティリティにアクセスできません。そのため、ご使用の無線LAN環境と本製品の初期値が異なる状態では、設定ユーティリティにアクセスすることはできません。はじめに、本製品の設定ユーティリティにアクセスできる環境を構築してください。詳しくは22ページをお読みください。

●MACアドレスフィルタリングの設定は間違っていないですか？

→アクセスポイントでMACアドレスフィルタリングを設定している場合は、本製品とアクセスポイントの間でアクセスが許可されるように、本製品のMACアドレスを設定してください。

印刷を実行できない

●本製品とプリンタの電源は入っていますか？

→これらの機器の電源が入っているか確認してください。

●各クライアントにTCP/IPプロトコルは登録されていますか？

→本製品を使用するにはTCP/IPプロトコルが登録されている必要があります。各クライアントのネットワーク設定を確認してください。

●各クライアントにプリンタのドライバをインストールしていますか？

→各クライアントには、本製品の付属ユーティリティ「Laneed LPR」以外に本製品を接続しているプリンタのドライバをインストールする必要があります。

●Laneed LPRをインストールしていますか？

→各クライアントには、Laneed LPRをインストールし、Laneed LPRを使ってIPアドレスと論理プリンタ名を指定する必要があります。

●プリンタのプロパティでポートを指定しましたか？

→設定の最後に、プリンタのプロパティでポートを指定する必要があります。

LD-PS Adminで本製品を認識できない

●IPX/SPXプロトコルを登録しましたか？

→LD-PS Adminを使用するにはIPX/SPXプロトコルが登録されている必要があります。ファームウェアの更新などでLD-PS Adminを使用するコンピュータの設定を確認してください。

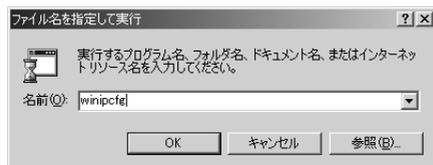
●本製品の電源を入れてからLD-PS Adminを起動しましたか？

→これらの機器の電源が入った状態で起動しないと、本製品を認識することはできません。LD-PS Adminを起動してから、これらの機器に電源を入れたあとと再検索してください。

IPアドレス等を調べる

Windows Me/98でクライアント(コンピュータ)のIPアドレスがわからない場合は、次の手順で調べてください。

- ①[スタート]メニューから[ファイル名を指定して実行]を選択します。
- ②「名前」に「winipcfg」と入力し、**OK** ボタンをクリックします。



- ③ <IP設定> 画面が表示されます。終了するときには、画面右上の **X** をクリックします。



- もし、IPアドレス、サブネットマスクなどが正常に取得できていないようであれば、**すべてを書き換え** ボタンをクリックします。
- IPアドレス自体が取得できない場合は、クライアントが正常にネットワークに接続されていない。またはIPアドレスの設定が正しくないなどの原因が考えられます。

pingコマンドを使う

Windows Me/98の場合、pingコマンドを使うとネットワークがどこまで正しく接続されているかを確認することができます。次の手順でpingコマンドを送ることができます。

- ①Windows Meでは[スタート]→[プログラム]→[アクセサリ]→[MS-DOSプロンプト]を選択します。Windows 98では[スタート]→[プログラム]→[MS-DOSプロンプト]を選択します。

- ②「>」のあとに「ping (本製品のIPアドレス)」を入力し、**Enter** キーを押します。

(例) 本製品のIPアドレスが「192.168.1.200」の場合

```
C:¥WINDOWS>ping 192.168.1.200
```

注：pingとIPアドレスの間に半角スペースが入ります。

- ③正常につながっていれば「Reply from 192.168.xxx.xxx : bytes=32... (xには実際に指定しているIPアドレスが表示されます)」というようなレスポンスがあります。それ以外は、何らかの問題が発生しています。

◆192.168.1.200にpingコマンドを実行した例

```
C:¥WINDOWS>ping 192.168.1.200

Pinging 192.168.1.200 with 32 bytes of data:

Reply from 192.168.1.200: bytes=32 time=13ms TTL=255
Reply from 192.168.1.200: bytes=32 time=10ms TTL=255
Reply from 192.168.1.200: bytes=32 time=14ms TTL=255
Reply from 192.168.1.200: bytes=32 time=13ms TTL=255

Ping at statistics for 192.168.1.200:
Packets: Sent = 4, Received = 4, Lost = 0 (0% loss),
Approximate round times in milli-seconds:
Minimum = 0ms, Maxium = 124ms, Average = 10ms

C:¥WINDOWS>
```

- インフラストラクチャ・モードの場合はアクセスポイントのIPアドレスで試してみます。正常にレスポンスがあれば、アクセスポイント～本製品の間に問題があります。レスポンスがない場合は、アクセスポイントまでの経路にすでにエラーがあります。

12 サポートサービスについて



ラニード製品のサポートサービスについては、下記のラニード・サポートセンターへお電話またはFAXでご連絡ください。サポート情報、製品情報に関しては、FAX情報、インターネットでも提供しております。なお、サポートサービスを受けるためには、必ずユーザ登録をおこなってください。

●ラニード・サポートセンター

TEL : 03-3444-5571 FAX : 03-3444-8205

受付時間：月～金曜日 9:00～12:00 13:00～18:00
 (夏期・年末年始特定休業日、祝祭日は除きます)
 ※FAXによる受信は24時間おこなっております。

●インターネット

<http://www.elecom-laneed.com>

●FAX情報サービス

最寄りのサービス情報BOXセンターにお電話ください。
 ガイダンスに従って取り出したい情報のBOX番号を指示してください。

メインメニューBOX番号(提供している情報の一覧がFAXされます)

559900

電話番号

| | |
|------------------|-----------------|
| 東京：03-3940-6000 | 大阪：06-6455-6000 |
| 名古屋：052-453-6000 | 福岡：092-482-6000 |
| 札幌：011-210-6000 | 仙台：022-268-6000 |
| 広島：082-223-6000 | |

●修理の依頼

本製品が故障した場合には、故障した製品と保証書に、故障状況を記入したものを添えてご連絡ください。

保証期間内

まずは、上記のラニード・サポートセンターまで電話またはFAXでご連絡ください。

保証期間外

東京都八王子市子安町3-5-2 セキエレクトロニクス株式会社内
 エレコム修理センター
 電話番号 0426-31-0271 FAX番号 0426-31-0272
 受付時間 月曜日～金曜日 9:00～12:00 13:00～17:00
 (ただし、祝祭日および夏期・年末年始特定休業日は除く)
 ※FAXによる受信は24時間おこなっております。

●サポートセンターへお電話される前に

サポートセンターにお電話される前に次の事項を確認してください。

- ・このマニュアルの63ページ「11.こんなときは」をお読みにになりましたか。まだ、お読みでない場合は、お電話の前にお読みください。
- ・システムを起動できる場合は、起動した状態でお電話ください。
- ・異常のある製品を取り付けたコンピュータの前から会話が可能な場合は、コンピュータの前からお電話をおかけください。実際に操作しながらチェックできますので、解決しやすくなります。
- ・FAXを送られる場合は、付属の別紙「トラブルシート」に、できるだけ詳しい内容をご記入ください。

次のことをお調べください。

●ネットワーク構成

使用しているネットワークアダプタ:
 使用しているOS:
 使用しているコンピュータ本体(メーカーおよび型番):
 ネットワークを構成するコンピュータの台数とOSの構成:
 ネットワークを構成するその他の関連機器(HUB、ルータ等) :

●具体的な現象について

具体的な現象:
 事前にお客様が試みられた事項(あればお伝えください):

10 基本仕様

Laneed

| | |
|---------|--|
| 商品名 | 1ポート無線プリントサーバ |
| 製品型番 | LD-WL11/PRN |
| 印刷プロトコル | TCP/IP(LPR)、NetBEUI(SMB)、AppleTalk |
| 規格 | IEEE802.11/IEEE802.11b、RCR STD-33 ARIB STD-T66 |
| 伝送方式 | DS-SS方式(直接拡散スペクトラム拡散方式) |
| 周波数帯域 | 2.4GHz(2.412~2.4835GHz) |
| 伝送速度 | 11Mbps/5.5Mbps/2Mbps/1Mbps |
| 伝送距離 | 11Mbps : 屋内 30m、 屋外 80m 5.5Mbps : // 30m、 // 80m 2Mbps : // 50m、 // 120m 屋外とはしゃへい物がない場所のことです。 |
| チャンネル | 1ch~14ch |
| 通信モード | インフラストラクチャ・モード アドホック・モード |
| セキュリティ | ESS-ID、WEP、パスワード管理 |
| プリンタポート | IEEE1284パラレルポート(D-Sub25ピン×1 : メス) |
| 電源/消費電力 | DC5V(ACアダプタによる)/2.15W |
| 動作温度 | 0~50℃ |
| 動作湿度 | 5~95%(結露なきこと) |
| 形状寸法/重量 | 幅188×高さ32×奥行115mm/330g |
| 対応OS | Windows Me、Windows 98、 Windows 2000、Windows NT 4.0、 Mac OS (漢字Talk7以上) |
| 付属品 | CD-ROMディスク(1枚)、ユーザーズマニュアル、 ユーザ登録カード、保証書 |

1ポート無線プリントサーバ
LD-WL11/PRN
ユーザーズマニュアル
発行 エレコム株式会社
2001年10月1日 第1版